

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティオブライフ土浦第4教室		
○保護者評価実施期間	8年 2月 1日		8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラムの充実、工夫がされている。	第2教室と同じコンセプトのもと、教室に来ているお子様に合わせてカリキュラムを変更している。取り組みやできることできないことを見極めてカリキュラムに生かしている。	固定化されてもよいところを考えながら、成長に合わせたものを提供していく。
2	保護者様からの申し入れや相談を受け入れ、満足度につながっている。	できる限りの要望にこたえられるように、他の教室とも連携しながら行っている。	この満足度を落とさないように、保護者様やお子様と協力しながらより良いものを提供していきたい。
3	保護者の方に支援の内容や行っていることを理解していただいている。	HUGを使った記録を行い、日々行っている内容を記録に残している。今日あった出来事のよかったことも悪かったことも個別支援計画のもと評価している。	出来事、行った支援内容、その結果を書けるようにしています。今後さらにわかりやすい内容をお伝えできるように努力していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	契約時に伝えているマニュアルに関しての伝達や説明ができていない。	契約時には説明するが、それ以降機会がなければ提示していない状態になっている。手段を考えて定期的に説明する機会を設ける必要がある。	教室での掲示だけでなく、親子イベントの機会などで確認していけるようにしていく。
2	児童クラブや他の事業所との関わり、地域交流の機会についで少ない。	協力体制を構築していくことに時間がかかっている。研修会など少しずつイベントの開催をきっかけに交流できるようになってきている。	年1回になってしまったが、今後も年間行事に入れながら取り組んでいきたい課題となっている。
3	職員間の共有する時間が少ない。	それぞれの抱えている仕事もあるが、時間を設けていなかったことが挙げられていた。	何を話し合っていくのかという目的を明確にすることから始めて時間決めて週の中に入れたミーティングを多くしていく。